

令和4年第4回明和町議会定例会一般質問事項

12月7日

1 8番 齋藤 一夫 議員

1. 道路管理について

- (1) 現在の町道の計画路線に対する施工率は。(未施工路線の割合はどの程度か。未施工路線の解消対策はどのようになっているのか。)
- (2) 町道の補修率は。今後の補修計画は。(経年劣化等により道路の補修が必要な箇所があり補修を行っているが、補修箇所が今後増加すると思われる。応急処置だけでなく、大規模改修が必要と思われるが、町の考えは。)
- (3) 町道の路線延長計画は。(新規住宅の開発に伴う道路の町道化の推移は。受け入れ基準の見直しは。)

2. 交通安全教育について

- (1) 小中学校における交通安全教育は。(現在どのような交通安全教育が行われているのか。)
- (2) 現在行われている街頭指導と今後の実施予定は。(通学時等の街頭指導状況(時期と期間)と今後の指導計画の変更の検討は。)

3. ワクチン助成について

- (1) 現在、助成しているワクチンは。(助成している種類と助成内容は。)
- (2) インフルエンザワクチンの助成額の増額、対象範囲の拡大はできないか。
- (3) 帯状疱疹ワクチンへの助成をできないか。

2 5番 坂上 祐次 議員

1. ネーミングライツ事業の検証・推進について

ネーミングライツにより自治体は有効に財源を確保することができる。また、企業としては幅広くPRすることができ、施設の経済的支援を通じた社会貢献に繋がると考える。

- (1) ネーミングライツ事業により、平成30年4月から明和町ふるさと産業文化館の愛称が「日本キャンパックホール」に、明和町立図書館の愛称が「日本キャンパック図書館」となったが、契約期間、命名権料の内容は。また、ネーミングライツ導入後にどのような効果があったか。
- (2) 名称変更に伴う広告物等の表示変更についての費用負担は、どのような契約になっているのか。
- (3) ふるさと産業文化館以外の公共施設において、ネーミングライツの募集を行う考えは。

2. 企業版ふるさと納税を活用した事業展開について

企業版ふるさと納税の有効な活用への関心が高まっている。企業版ふるさと納税を活用した官民連携による地方創生の推進について問う。

- (1) 本町での企業版ふるさと納税を活用した事業の実績は。
- (2) 企業版ふるさと納税には、人材派遣型として専門的知識・ノウハウを有する企業人材を地方団体に派遣する取り組みがあると聞いているが、具体的にはどのようなものか。また、本町のニーズはあるのか。
- (3) 企業版ふるさと納税等を活用した事業について、今後の町の考えは。

3 1番 藤野 一也 議員

1. オールインワンのまちづくりについて

富塚町長就任から令和5年4月で2期目8年が過ぎようとしている。町長就任時所信表明で述べたオールインワンのまちづくり並びにまちづくりの3本の柱について、その実績及び評価について問う。また、来年度予定されている次期町長選挙出馬意向について問う。

- (1) 町長就任からの実績及び評価について
 - ① 着実に歩み続けるまちづくりについて
 - ② 確実に安心できるまちづくりについて
 - ③ 誠実なまちづくりについて
 - ④ オールインワンのまちづくりについて
- (2) 次期町長選挙への出馬について
 - ① 出馬の意向は
 - ② 今後のまちづくりの展望について